

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	日本経済大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	ニホンケイザイダイガク
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	F140310110767
	大学等名1(代表大学等)学校本部所在地	福岡県
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	科目名	インターンシップ
	学部・研究科等名	全学部・全学科
	担当教職員名・役職	令和2年 森 由紀(経営学部 講師) 他10名
	受講者数実績年度	令和2年度
	受講者数※インターンシップ参加者数	21
	受入企業等数	11
	受入企業等名	青山商事(株)、麻生レコードマネジメント(株)、エンドライン(株)※九州ins推進協議会、太宰府高等学校、太宰府市役所(株)、ダスキンスーヴ、高光産業(株)、(株)太宰府園(株)、千鳥屋創本舗(株)、ハコブネ(株)、南福岡自動車学校
	インターンシップの分類	6.低学年(大学1年次～2年次程度)からのインターンシップ 8.大企業・グローバル企業でのインターンシップ 9.中小企業でのインターンシップ 10.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ
	上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容	
	1-3.上記回答内容に関する詳細	企業等の計画による業務体験及び課題解決に伴う調査等を行い、最終日にプレゼンテーションを行う。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	2.当該インターンシップは、キャリア教育科目として実施している 3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している 6.当該インターンシップは、選択科目として実施している 7.当該インターンシップは、授業期間中に実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次	大学 学部2年 大学 学部3年
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数	大学 2単位

		大学 2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細	実習前の事前講義を通して、目的意識を強化し、より円滑な就業体験を図り、さらに実習経験を通して、自らの職業適性を確認すると共に社会人としての意識向上を主体的に図ることを目指せるよう、講義から実習へと一連の流れが作れるようになっている。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている
		2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている
		3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている
		4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている
		2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている
		3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容	
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している
2.インターンシップ中に、学生が定期的に大学等において教職員と面談を実施している		
3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容		
3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	01) オリエンテーション 02) ビジネス基本マナー 03) コミュニケーションの基本マナー 04) 訪問時・来客時の基本マナー 05) 電話の基本マナー 06) ビジネスメールの基本マナー 07) ビジネス文書の基礎知識 08) 自己紹介書の作成&自己紹介スピーチ 09) 社会人講話	

	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	<p>秋学期第2週目、同じ講義時間に全学生・全教職員絵の公開全体報告会を行う。</p> <p>このため、グループ分けをし、どういった報告内容にするか等、各グループで準備を進める。開催前週の講義時間に集まり、全体で発表会準備を行い報告会を開催する。</p> <p>これは、実習生の成長を伝える場であり、また次年度のインターンシップ受講生への橋渡しとなる機会となる。</p>
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細	<p>担当教員が協力し、常時学生と連絡が取れる体制を構築する。このことにより、学生からの相談及び緊急対応が出来るようにしている。</p> <p>学生の状況把握を取るためにも、定期的な面談、実習中のモニタリングを行う。</p>
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み	
	4-3.上記回答内容に関する詳細	レポート・日誌の提出により、指導教員は学生へのフィードバックを行い、学生への自己理解を促す。その後、教員間での分析等により研鑽を行っている。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合	実施期間5日
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容	
	5-3.上記回答内容に関する詳細	コロナウィルス感染症の感染防止を鑑み、すべての実習を5日間のみを設定し、本来であれば、2社の企業を合わせて2週間以内で計画していたところを、1社のみとした。実習の期間については、企業側からも希望された。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してプログラムを設計している
		2.大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している
		3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている
		5.企業等と協働して作成した評価シートを活用し、具体的な効果を数値化して測定している

		6.企業と協働して、P D C Aを実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容	
	6-3.上記回答内容に関する詳細	事前にインターンシップの実施要項による目的・内容をご理解いただいた企業に協働してプログラムを設計している。また、担当教員と受入企業等と常に情報交換が出来るように体制を設けている。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	https://www.jue.ac.jp/for_student/internships/ https://jue.tsuzuki.ac.jp/public/web/Syllabus/WebsyllabusKensaku/UI/WSL_SyllabusKensaku.aspx
問い合わせ先	大学等名	日本経済大学
	担当部署名	キャリアサポートセンター
	担当者役職名	キャリアサポートセンター課長
	担当者氏名	伊藤 聡
	電話番号	092-921-9814
	メールアドレス	syusyoku@fk.jue.ac.jp